

夢のつばさプロジェクト

2024秋の交流会 学生報告書

【日程】2024年10月13日（日）

【開催地】宮城県仙台市 トークネットホール（仙台市民会館）

【参加者】子ども：4名（高校生4名）

保護者：2名

学生スタッフ・OB/OG（社会人を含む）：14名

社会人スタッフ：2名

◆2024秋の交流会について

皆様のご支援とご協力のもと、今年も仙台で秋の交流会を行うことができました。今回は、昼食も用意し、午前・午後をまたぐ大きな企画の中で3つのゲームを行いました。また、保護者の方にもご参加いただき、保護者懇親会を開催いたしました。

以下に詳細をご報告いたします。

◆スケジュール・概要

時間	子どもたちの動き
9:30	仙台駅ステンドグラス前 集合
10:00	トークネットホール仙台（仙台市民会館）到着・会場準備
10:10	開会式
10:20	流行語大賞自己紹介ゲーム…①
11:00	企画説明 スパイ14分の2…③
11:10	ドミノ並べ…③(1)
11:30	昼食
12:15	塩コショウゲーム…②
12:30	気配斬り…③(2)
13:10	休憩
13:20	利きポテチ…③(3)

14:00	気配斬り（交流試合）
15:00	閉会式・会場片付け
16:00	仙台駅到着・解散

①流行語大賞自己紹介ゲーム

最初に自己紹介を兼ねて、「流行語大賞自己紹介ゲーム」を行いました。前に出て簡単に自己紹介をした後、これまでの流行語大賞受賞作品が書かれたカードを年代順に並べ替えるというゲームです。参加者同士が言葉の意味を説明し合ったり、順番を予想したりしながら、終始和やかな雰囲気で行いました。

②塩コショウゲーム

午後のプログラムの冒頭では、「塩コショウゲーム」を行いました。参加者の背中には「過去」と「未来」、「デジタル」と「アナログ」といった、対になる言葉が書かれた紙が貼られます。ほかの参加者と互いに質問をしあうことで自分の背中にある言葉を予想し、時間内にペアを見つけるというものです。ペアを見つけるために、積極的に他の参加者に話しかけており、活発なコミュニケーションが見られました。

③スパイ14分の2

今回の交流会のメインの企画として、「スパイ14分の2」を行いました。バラエティー番組内で行われる企画を参考にしたもので、参加者14名でカードを引いてスパイを決定し、その後チームに分かれて「ドミノ倒し」「気配斬り」「利きポテトチップス」を行います。スパイでないプレイヤーはそれぞれのゲームで成功を目指しながらスパイを見破り、スパイは見破られないようにしながらゲームを失敗に導くことが求められます。どのゲームも終始笑顔が見られ、最後の答え合わせでは誰も予想しなかった参加者がスパイであったため、大きく盛り上がりました。



③(1)ドミノ倒し

企画部メンバーのタイムより早く、100個のドミノを並べて全て倒すことが成功条件とされました。他の人とは違った並べ方をする参加者や、並べている途中にドミノを倒してしま

う参加者の様子を見て、他の参加者はスパイではないかと早くも予想していました。どのチームも、ほかのチームのドミノが倒れ切ったときには一緒に喜んでいる様子でした。

③(2) 気配斬り

目隠しをした状態で、音や気配を頼りに他の参加者をスポンジの剣で斬り、チームの合計ポイントを競いました。普段の賑やかさとは打って変わって話し声や物音のしない空間で動き回る参加者を見て、観戦している参加者は笑いをこらえるのに必死のようでした。参加者が斬られたときは大きな歓声や笑い声が起こり、いつもとは異なる雰囲気を楽しんでいる姿が見られました。



③(3) 利きポテチ

うすしおチームとコンソメチームに分かれて、それぞれ5種類のポテトチップスを目隠しをした状態で食べ、商品名との正しい組み合わせを当てるゲームです。食べたことのない種類もあり、どのチームも苦戦しながら活発な話し合いをしていました。全問正解したチームはありませんでしたが、答え合わせの後にも再度食べ比べをするなどして楽しんでいる様子でした。



◆保護者懇談会について

今回の交流会では、子どもたちが企画を楽しんでいる間に別室で保護者の方2名、社会人スタッフ2名、OBスタッフ1名と学生スタッフ1名で懇談会を行いました。保護者の方から子どもたちの普段の様子や頑張っていること、子どもたちの進路についてを伺いました。また子どもたちが夢のつばさプロジェクトを居場所の一つとして捉えているというお話を伺うことができ大変喜ばしく思います。今後の活動がよりよいものになるようスタッフ一同尽力してまいります。ご参加いただきありがとうございました。

◆秋の交流会を終えて

秋の交流会を無事に終えることができましたことを嬉しく思います。終始和気藹々とした雰囲気で行進しており、ほっとするとともに、このような場を提供できていることに一種の誇らしさを感じました。子供達も積極的に企画に参加し、一緒に企画を盛り上げようとしてくれているのがわかり、こちらも元気とやる気をもらうことができました。



今回は、子どもたちに日程の希望を取ったところ、土曜日と日曜日のちょうど半分ずつに分かれてしまいました。大学進学を決めた子どもたちが参加を希望する日曜に、お祝いを兼ねて実施することになったので、土曜日を希望した子どもたちが参加できず、本当に残念で、また申し訳ないことでした。今後も子供たちが楽しめる場所、安心できる居場所を作るという意識を持ち、活動を続けて参りたいと思います。

夢のつばさプロジェクト学生代表 お茶の水女子大学2年 五十嵐美咲
副代表 田中綾
都築汐里
南結希乃